

# 自立への第一歩!!

# 郷の集い

発行 新郷小学校PTA  
 編集 龍田公明  
 印刷 久野印刷(株)



## 巣立ちの舞

学校長 藪 耕 治

今、あなたたち八名は六年間という長い間、楽しく過ごしたこの小学校を、鳥の巣立ちのように飛び立とうとしています。特にこの一年間は最上級生として、低学年の面倒を見たり、児童会の中心になったりして活躍してくれました。本当にありがとうございます。

さて私たちが生活しているこの社会をながめてみると、平和そのものです。ほしいと思えば手に入らないものが無いほど物の豊かな時代です。自分から求めて苦しさや汗を流すことをしな

北海道を旅したある写真家が、親子づれのキタキツネを見ました。母ギツネは、えさの取り方や、敵との戦い方など毎日子ギツネに訓練を続けました。子ギツネの体は見る見るたくましく成長してきました。ところがある日のこと母ギツネが、突然三びきの子ギツネにおそいかりました。やさしかった母親が本気で子ギツネに戦いをいどみました。子ギツネたちも本気で母親に立ち向かいました。三対一で戦う母ギツネは若い子ギツネにかないません。体から血を流し、よわりきつてもやめようともしません。とうとう子どもたちは巣から逃げ出しました。一人ぼ

## 失敗を忘れるな

PTA会長 小西敏夫

卒業を迎えられた六年生の皆さん、おめでとうございます。昨年の、「反省だけなら猿でも出来る」という言葉が話題となりましたが、普通、人間は失敗と反省を繰り返しながら成長していくのだと思います。

アメリカプロ野球史上空前の強打者として有名なベップ・ルースが、七百十四本のホームランを打ったホームラン王だったことは知られていても、千三百三十回も三振をした史上空前の三振王だったことは一般に

は知られていません。失敗は何回しても一定の時間内で速く成功した方が、また数多く成功した方が、良いのだと思います。これから益々難しい場面に出くわすことが多くなるかと思いますが、失敗を恐れてぐさぐさ考えていないで、積極的に挑戦していつてもらいたいと思います。

卒業生の皆さんへのはなむけはこれくらいにして、この一年間をふり返ってみると、忙しいからと断り続けたPTA会長を引き受け

て、はや一年が過ぎようとしています。引き受けた方には会員の皆さんに喜んでもらえるような仕事をやりたいと思いつつも、経験不足と忙しさを隠れみのに、特に、諸先生や役員の皆様にはご迷惑をおかけしたのではないかと思っています。

来年度は子供、親、先生さらには区民の皆さんの交流がこれまで以上に深まるようなPTA活動を目指して、自分自身も活性化していきたいと考えておりますので、PTA会員の皆様方にもこれまで以上のご協力をお願いいたします。



# ☆伸びゆくわれら!!



龍田

ぼくは、中学生にはやくなりたいです。部活は、バドミントン部に入りたいと思っ  
ています。頭の中に、楽しく運動している様子が浮かんできます。今まで、いろいろなることを教えてくださってどうもありがとうございました。これからも、がんばって行くのでよろしくお願  
いします。



藤崎

六年間、くるしい時もあり、楽しい時も多かったけど、楽しい時も多  
く、とても短く感じました。中学校は三年間しかなく、けれど、小学校生活を思い出して、がんばっていきたいと思  
います。ありがとうございます。



山口

本当に六年間は短いものでした。入学式を昨日の事のように覚えて  
います。たった六年間だったけど、たくさん思い出、経験などを、中学校へ行って  
も思い出して、小学校以上になんばっていきます。  
お世話になった先生方、今までずっと見守って下さって本当にありがとうございました。



青木

入学してから六年。今までに、楽しい思い出がたくさんあり  
ました。特に、生き生きタイムでは、なにかもが初めての体験でした。中学校に  
いっても、小学校の思い出を忘れず、いっしょけんめいがんばって  
いきたいと思  
います。お世話になった先生方、全校のみなさん、お父さん、お母さん、今  
まで本当にありがとうございました。



小嶋

入学式。思い出せばもう六年も前の事なので  
すね。卒業するとう実感がこのごろ少しずつわいてきたよ  
うです。



吉江

この前入学したと思っ  
た私達もう卒業です。卒業してしまったら、今までのか  
よっていた新郷小学校がとて  
もこいしくなると思  
います。だから新郷小学校でつ  
ちでいっぱいになります。  
それに、中学校へ行く  
と、いろいろな不安が  
あります。でも、この新郷  
小学校で作った思い出を大  
切にして、希望を持った中  
学校生活を送りたいと思  
います。



小西

卒業なんてまだまだだ  
なと思っ  
ていたのに、今年あ  
とどうとう私が卒業する番  
なのです。本当に、六年間  
たっ  
てしまっ  
たのだな  
と、と  
てもさ  
みしい  
気持  
ちで  
いっ  
ぱい  
にな  
りま  
す。



酒井

この六年間の思い出は、私にと  
って決して忘れることので  
きないものになるで  
しょう。その中で一番の思  
い出は、東京の国立競技場  
に行けたこと、私にとっ  
ては貴重な体験でした。  
中学生になっても陸上を  
がんばります。つらいこと  
や悲しいことがあっても、  
私の心には思い出としてと  
っておきたいです。今  
までお世話になった先生方、あ  
りが  
ご  
ざ  
い  
ま  
し  
た。

一年生の時から生き生き  
と、本当に大切な思い出  
あり、忘れられ  
ません。中学生になっ  
ても、今までの経験を生か  
し、がんばっていき  
たいと思  
います。みなさん、今  
まで本当にありがとうございました。

学、美術など新しい科目があるし、部活なども始まるのでがんばろうと思  
います。

切にして、希望を持った中  
学校生活を送りたいと思  
います。

お世話になった先生方、あ  
りが  
ご  
ざ  
い  
ま  
し  
た。

お世話になった

先生

幼稚園

中西 美恵子

一・二年生

八十嶋 早苗

三・四年生

城下 博美

五・六年生

柳原 達郎

ありがとうございました。  
ございました。





竜馬のように

柳原達郎



私の好きな歴史上の人物に坂本竜馬がいます。彼の政治上の重要な働きとして、薩長同盟、体政奉還、船中八策など、歴史を大きく旋回させるものが数多くあります。しかし、私が好きなのは、そこに到るまでの竜馬の柔軟な発想と、抜群の行動力です。

彼は、外国へ行った経験はありませんが、当時の先覚者たちから聞いたことをしっかりと自分なりに構築し、実行しようとしてきました。民主政治、株式会社など、それまでの日本からは考えつかないことを、彼はその頭脳と身体で示しました。

さて、卒業される皆さん、竜馬のこの柔軟性はどこから生まれたのでしょうか。それは、まず物事を素直に見る目があったからだと思えます。素直に見るから、本質が見える。だから次の

行動へ素早く、的確に移動できるのです。皆さんは今、竜馬のような素直な目を持っています。しかし、残念ながら、大人になるにつれてその目にいろいろなフィルターがかかってしまい、あるがままに見れなくなってしまうがちです。どうか、今のその目を大事にして下さい。

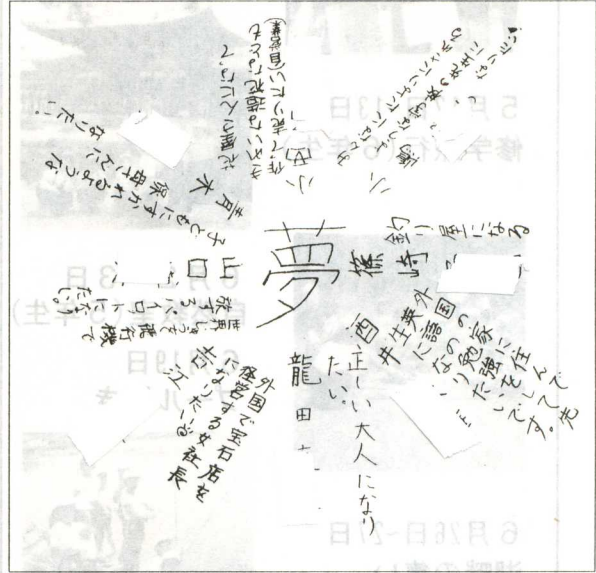
私も、皆さんとの二年間の生活を糧に、新たに飛び出したいと思っています。

タイムスリップ  
 六年前の私たち



ここに一枚の写真がある。入学式の日、体育館玄關で撮った写真。不安の交じった緊張した顔の九人の新入生。そうあなたたち。早いものでもう卒業。何色でも染まるといわれる一年生を私は何色に染めたのたろういや、今思うと、何色にも染められなかった。一人一人の内なる色で、すぐに輝き始めていたのだから。個性豊かなあなたたちが、こ

れから、自分の色を大切にしてください。また、新郷小学校の様子を見に来て下さい。



十六の瞳

城下博美

平成元年の春、十六のきれいな瞳に出会いました。たった八人なのに、元気で明るく、しっかりと考えることのできるクラスでした。授業で各地に行ったり、金魚の赤ちゃん騒動、クリスマス会などの思い出の中でみんなの笑顔が、今も鮮やかによみがえります。

新郷での六年間で、その瞳に映ったもの、感じとったことを大切にして下さい。



自分の色で輝いて

八十島 早苗

五年 三上 寛了

下級生からの言葉

六年生のみなさん。ご卒業おめでとうございます。ぼくたち下級生は、ずいぶんなさんのお世話になりました。生き生きタイムや、集団登校で、小さい子のめんどろをみたり、児童会や委員会、中心になって活



# 思い出の1ページ

4月1日入園式・入学式

4月23日遠足

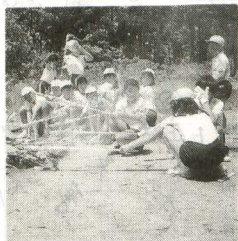
4月25日

新入生歓迎会



5月1日写生会

5月12日~13日  
修学旅行(6年生)



6月2~3日  
自然教室(5年生)

6月19日  
プール開き



6月26日~27日  
湖畔の集い



8月2日  
スポーツ  
フェスティバル

9月20日体育祭

9月25日

町陸上記録会

10月7日

郡陸上記録会



10月9日遠足

10月17日

祖父母学級



10月24日いもほり



1月11日  
書き初め大会

1月25日

スキー教室

2月6日  
なわとび大会



2月7日父親学級

3月22日卒業式



# おもいで

# もうすぐいちねんせい

## 個性豊かな子どもたち!



6月26日  
おたのしみ会  
(けものの道  
に挑戦)



10月1日  
牛舎見学  
(黒川牧場)



2月16日  
なわとび大会



いつもキラキラと輝く瞳で、たくさんの発見をし、「せんせい!あのね!」と元気いっぱい駆けてきた13名のさくら組のみなさん、ご修了おめでとうございます。劇場ごっこを考えだし、手品やペープサート、パネルシアター等、いろいろな発表をするのが大好きでしたね。なかよし探検隊では舟津公園へも出かけ、丈夫な足にびっぴりしました。



# がんばったね 全国大会



酒井

全国大会の選考会が鯖江であり、百六十人の中から一位に選ばれ、ゴールの白いテープを切った時の感動は、今でも忘れません。

さあ!全国大会まで四十日程、厳しい練習が始まりました。「何回やってもうまく行かない!」と泣いた事もあり、私自身何とも言えない気持ちになりました。一時は、スランプに陥ってあせった事もありましたが、それも乗り越え、何とかその日を迎える事が出来ました。予選・準決勝と一位で、決勝では三位、まさかここまで来れるとは思っても見ませんでした。

柳原先生をはじめ、諸先生方、PTAの皆さんの陰の応援があったからこそ、ここまでこれたのだと感謝しております。本当に有難うございました。

酒井

8月29日に全国大会がありました。都道府県で選ばれて来た人は、自分よりおそい人がいないと思うくらい強そうでした。決勝の時、先生にいわれたことを守り、いっしょけんめい走りまわりました。3位で銅メダルをもらえたことは、私にとってとてもいい宝物です。

父親学級に思う  
龍田



父と子の触れ合いを思い、今回の父親学級を企画しました。自分の事ですが、子供が学校で何をしているのか、どんな生活をしているのか、と想っている子供に聞く時間も少なく、そうこう思っている内に年月が過ぎて行き、今年もう卒業になりました。今年も学校の役をさせて頂いたおかげで少々関心を持つ事ができました。親子で一生懸命作っている後ろ姿や、体育館での遊んでいるのを見てみると、本当に良かったと思います。



